

町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。

具合の悪い時はいつでもご相談ください。

☎0237-74-2211



月山朝日観光協会「カッちゃん」
キャラクター「カッちゃん」

NETWORK

にしかわ

2025

令和7年

1月号

No.826

主な内容

P2 | 特集 西川町から世界へ

～町外から見た西川町とは？～
出羽屋さん、玉谷製麺所さんおめでとう！



特集

西川町から世界へ ～町外から見た西川町とは？～

近年西川町では、SEA TO SUMMITやONSEN・ガストロノミーなどの多種多様なイベントが開催され、町外からの来客（＝交流人口・関係人口）も顕著に増えてきました。町民と交流人口・関係人口との交流会も頻繁に開催され、以前よりは町外の方と接点も増えてきた西川町ではありますが、残念ながら、こうした町外からの来客が西川町のことをどのように捉えているのか、実際に知る機会はまだまだ多くありません。

そのような中、今年、西川町と町内の二つの企業が、とある大きな賞の認定を受けたことをご存知でしょうか？一部の賞については、すでに町報等でお知らせしておりますが、ここで改めて賞の内容についてご紹介させていただきたいと思っております。

賞の内容を知ることによって、町民の皆さんが、「町外から見た西川町」の一端を垣間見ることができれば幸いです。

I ベストツーリズムビレッジ (BTV) への認定

ベストツーリズムビレッジ (BTV) とは、持続可能な開発目標 (SDGs) に沿って、観光を通じた自然・文化遺産の保全等により、持続可能な観光地域づくりに取り組む優良な地域を認定する、国連世界観光機関のプロジェクトです。

国内では、白川郷で有名な岐阜県白川村、インバウンドのスキー客で飛ぶ鳥を落とす勢いのにぎわいを見せる長野県白馬村や北海道ニセコ町がすでにBTVに認定されておりますが、2023年の時点でその数はわずか4地域でした。

これまで認定された地域が少ないことからわかるとおり、BTVに認定されるためには国際機関による厳しい審査に合格する必要がありますが、なんと今年、西川町もこのBTVの認定を受けることができました！

今年新たに認定されたBTVは西川町を含めて2地域だったので、国内のBTVはこれで6地域ということになります。

西川町が認定されたのは、町民の皆さんがはるか昔から引き継いできた三山信仰や、月山での夏スキー・登山、持続可能な地域づくりが評価された結果ですが、これで「町外から見た西川町」は、白川郷やニセコに肩を並べる観光地になったと言えるでしょう。

II 山菜料理出羽屋が

「ゴ・エ・ミヨ 2024、料理マスターズ」に認定

山菜料理の元祖である「出羽屋」も、世界的に価値のある二つの賞の認定を受けています。

一つ目は「ゴ・エ・ミヨ 2024」です。

「ゴ・エ・ミヨ」はフランスの出版社が発行しているレストランのガイドブックで、あの「ミシュランガイド」と同等の影響を持っているといわれます。（「ゴ・エ・ミヨ」でピンとくる方は食通に違いありません！）

そしてこの度、出羽屋のシェフ佐藤治樹さんが、この「ゴ・エ・ミヨ2024」のうち、テロワール賞を受賞されました。

テロワール賞は、土地の風土や食材、育まれてきた文化を尊重しつつ、食材または料理を通じて独自の挑戦を試みている生産者または料理人に贈られる賞であり、西川に根付いてきた山菜料理の文化が、世界から評価された証であると言えるでしょう。



Town of Nishikawa

二つ目は、「料理マスターズ」です。

料理マスターズについては、日本の「食」や「食材」、「食文化」の素晴らしさや奥深さ、その魅力に誇りとこだわりを持ち続け、生産者や食品企業等と「協働」して地産地消や食文化の普及の取組に尽力した料理人を農林水産省が認定する制度で、こちらも出羽屋の佐藤治樹さんが認定されました。

出羽屋が世間から高い評価を得ていることは町民の皆さんもよくご存知でしょうが、国内外の権威ある団体や機関からこうした認定を受けていることから、出羽屋の「価値」を知ることができます。

III (有)玉谷製麺所が

「ディスカバー農山漁村の宝」に認定

ディスカバー農山漁村（むら）の宝（以下「ディスカバー」）は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

賞の知名度はそこまで高くないかもしれませんが、農林水産省が実施する表彰の中ではおそらく唯一、総理大臣からの表彰を受けることができる賞であり、認定されるハードルは高く、認定を受けた団体は、まさに日本の農村における「宝」であるといえるほどの名誉ある賞です。

このディスカバーに、今年度、玉谷製麺所が認定されました。玉谷製麺所は、雪の結晶の pasta のような、玉谷製麺所ではしか創ることのできない芸術性の高い商品や、本来捨てられるはずであったら・フランスなどを活用した pasta を開発し、農家の収入を向上させた農村社会への貢献、西川町産のソバを活用した地産地消の取組などが評価され、今回の認定に至っています。

我々の食卓にも欠かすことのできない商品を提供いただいている玉谷製麺所が、全国的に見ても高い価値のある企業であるという国のお墨付きが得られたと言えるでしょう。





菅野大志の

「いどばた会議」

vol.30

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

1. 来年度、過去最大の予算をもって、寛容な、楽しい地域を創ります。

昨年は、内藤副町長、前田教育長はじめ職員のがんばり、町民の皆さまの町への想い、小中学生の地域・町民に対する愛が結実し、西川町にとって飛躍の年になりました。個人的にも片時たりとも「町のため」を忘れずに行動しておりましたが、今年は少しじっくりしていきたいと思えます。

さて、昨年は、20年ぶりに復活した夏まつり・花火大会、トラスのオープンのほか、西川町は、次のように国連や国からも高い評価を受けました。

- サウナで町おこしの成果を評価いただいた「日本サウナメディア協会の特別賞」
 - 日本で14地域が認められた「観光庁の高付加価値なインバウンドモデル地域」
 - あるものを活かした観光地に贈られる「国連世界観光機構のベストツーリズムビレッジ」
- 今年も、西川の活性化のため、このテーマで頑張ります！

時勢をとらえた西川らしい政策を一体感をもって実行し寛容な楽しい町を創る！

(1) 西川らしい政策とは…

全国的に成功している政策が西川で成功するとは限りません！西川に合う政策はなにか研究するしかありません。しかし！西川町には、政策が合いそうかどうかを検討するデータがありません。民間企業が、商品売る前にはデータ上の根拠があって商品をだします。このため、町は、データを獲得する政策にチャレンジしたり調査やアンケートを実施するしかありません。

例えば、ご心配をおかけした「キャッシュレスキャンペーン」。狙い通り、政策の影響やさまざまな購買データを得ることができました。これを分析して、今回は、事業者への換金も早く、事務も効率的で、資金が町で循環する「つながるクーポン」を実施しようとなりました。データをとる過程で西川に合わない政策があるかもしれません。これからもデータがないものは、その獲得のために実施することもございます。これらは、西川の飛躍のために必要な過程であり、責任は全て私が負う覚悟です。

(2) 一体感をもって実行とは…

最近では、デジタル・コロナ・気候変動など時代の流れが速く、何が正解かわからず、明治維新时期に類似しているとさえ言われています。西川町は、維新时期の長州藩のような疾風勁草の政策を実施できていると感じます。ご存じのとおり、当時の長州藩は、禁門の変、下関戦争に敗れ、内戦も続きましたが、時勢を読み、最新鋭の武器をそろえて、泰平の世の中でも戦いに慣れ、2度にわたる長州征伐に勝利しました。



▲今年もとにかく対話！つば会の皆さまと！

同じように、役場では、最新鋭ノートパソコンを導入して情報を共有しています。これにより、タブレットを獲得するために、半年で2000人以上の方にマイナンバーカードを交付。また、職員一丸となって、つながるクーポンの利用を95%とするなど、目標を全員で成し遂げる組織となってきました！

今月の大ニュース！

『西川町がテレビで全国放送され、赤澤大臣に説明する機会をいただきました！』

ご登録をお願いします！



▲町公式LINE



▲オープンチャット

2. 赤澤経済再生担当大臣にご説明！

テレビでの全国報道が縁で、赤澤亮正経済再生担当大臣と意見交換する機会をいただきました。

西川のかせぐ取組とNFTを活用した関係人口を取り込むコツなどをお話しました。お忙しい中、大臣は45分間も時間を割いていただき意見交換。

大臣からは「西川町の先進的な事例を発信していきたい。トップランナーとして国と協働できるところは協働してほしい」といただきました。



▲赤澤大臣と川西大石田町長と！

3. 来年度、80億円規模の予算で寛容で楽しい町づくり

昨年も50回以上にわたる対話会や要望会、個別のご提案などもいただきました。おかげ様で、職員は、前例にとらわれず、町民の皆さまの課題を解決するような政策を考える力がついてきました。上回る80億円程度で予算編成をめざします。

当初予算額は、就任以降、56億、67億、75億、来年は80億円以上を想定。

地方創生交付金の恩恵を得るため、11月29日の国の説明会の翌営業日の12月2日に、古巣の内閣官房に西川のやりたいことを相談に伺いました。「さすが、西川さんはOBが2人もいるので、書き方がうまい」との評をいただきました(笑)



▲大臣へのご説明

4. 『仙山カレッジ』in西川町、過去最高の約170名が参加者！

基調講演を承り伝えたいことは3点。

- ① 広報は、誰に届けたいかによって、広報内容や方法が決まる！
- ② 無理だと思っても、与えられた環境で最善を尽くす🔥
- ③ 事業をするかどうか迷ったら、SWOT(強みと弱み、競争相手等を整理)分析して、実行を決めよう



▲水沢の飲食店付宿施設の上棟式

5. 正月に奥山繁先生の『ふるさとの飴(こだま)』を拝読

『誰もがなつかしく感じる響き ふるさとの飴(こだま)』と『ふるさとの遺産』を拝読して、繁先生の鋭い感性に感銘を受けました。生活していて、なんとなく感じていたことを活字化していただいていると感じました。

その一節の「かた雪」に「雪国の子供たちにとって春を感じる現象であり、ふるさとの懐かしい思い出づくりの1つ」とある。幼いころの懐かしさと同時に、子供たちには西川ならではの体験をしてもらいたい！また、かた雪を観光に活かしたい！こんなヒントをいただきました。



▲『ふるさとの飴』『ふるさとの遺産』(奥山繁著)



▲キャラクターづくりにチャレンジ。だんだんそれらしく！

	プラス要因 Strength (強み)	マイナス要因 Weakness (弱み)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○外気浴 ○セルフプロユ ○超軟水 ○水温 13度以下 ○熱湯土、壁にファンがある ○山伏の修行 ○自然(星空・虫の鳴き声) 	<ul style="list-style-type: none"> ▲サウナ別料金 +500円 ▲サウナのノウハウもった方少ない
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○上記サウナが近隣にない ○若い方を呼びたい 	<ul style="list-style-type: none"> ▲近隣にとがったサウナないが、他のサウナより高価格設定...

▲サウナを決めた際のSWOT分析



過去最高！約170名の方々が参加！

～仙山カレッジ（主催：河北新報社）があいべで開催されました～

河北新報社主催の公開講座「第42回仙山カレッジ」が12月14日、交流センターあいべ大ホールを会場に開催されました！

仙山カレッジは、山形県と宮城県の両県で交互に開催されてきた公開講座で、これまでの参加者の最高は113名でしたが、このたびの西川会場ではそれを上回る約170名を超える方々にご参加いただきました。雪で足元の悪い中でしたが、たくさんの町民の方々にご参加いただきありがとうございました。

第一部では、菅野町長の基調講演「急がば回れ！温かい、寛容なまちづくり」が行われ、これまでの関係人口増加に向けた取り組みやつなぐ課、かせぐ課設置の経緯などについて紹介しました。

また、第二部では、宮城学院女子大学の宮原育子教授をコーディネーターにタレントのミッチーチェンさんや広報PRプロデューサーの名久井麻利さん、菅野町長の3名のパネリストが、「地域活性化と情報発信～アピール下手からの脱却～」をテーマにディスカッションを行いました。

そしてフォーラム終了後は、会場を清流・庭園 山菜料理「玉貴」に移し、4名の登壇者のほか、カレッジ参加者のうち約70名が参加してのごちゃまぜの交流会も開催され、ディスカッションの内容をさらに詳しく聞きたいと、登壇者の周りにはたくさんの交流の輪ができていました。



第1回西川町総合政策審議会を開催！

本町のまちづくりの基本構想となる「第7次西川町総合計画」の進捗報告と今後の改定のため、12月21日に本年度1回目の総合政策審議会を開催しました。当日は山形大学人文社会科学科教授の下平委員長を筆頭に、学識経験者3名、町内在住者等の一般委員8名よりご参加いただき、町や総合計画に対するご意見・ご提案をいただきました。

委員の方からは、西川の小学生に台湾交流を通じて早い段階から世界を学んでほしい、新規起業を増やすことだけを目標とせず現在の事業者を伸ばす施策もあって良いのではないかなどの意見をいただきました。

今回いただいた意見を踏まえ、2月の第2回審議会へ向け、寛容な地域づくりを反映した計画の改定を目指していきます。



第7次総合計画の進捗状況（9月末時点）

5つの基本目標を掲げ、95個の重要業績評価指標（KPI）を設定。
全体の75%が順調に進捗しています！（測定不能の項目は除く）

特に進捗の良い目標

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度上期	目標値（目標年度）
交流人口	502,000人/年	437,866人/年	389,972人/年	1,000,000人/年（R12年）
保育園留学の利用世帯	0世帯/年	5世帯/年	9世帯/年	20世帯（R9年）
ふるさと納税件数	10,820件/年	21,043件/年	17,922件/年	20,000件/年（R12年）
暮らし体験利用者（累計）	0人	15人	229人	100人（R9年）
対話会	34回/年	59回/年	33回/年	36回/年（R12年）
「帰ってきてけローン」利用者（累計）	0人	10人	17人	50人（R12年）
ミニデイサービスを開催する地区の数（27地区中）	8地区	20地区	24地区	27地区（R12年）
有志による沿線等の環境美化活動・参加者	0回/年 0人/年	27回/年 467人/年	38回/年 331人/年	10回/年 延べ200人/年（R12年）
空き家バンクを通じての売買・賃貸（累計）	17戸	19戸	27戸	41戸（R12年）
財政調整基金及び減債基金額	21億8,000万円	20億5,703万円	22億5,706万円	20億円（R12年）
NFT発行による新たな資金調達額	0万円/年	1,085万円/年	260万円/年	1,000万円/年（R12年）

地域とともに歩む西川町立病院

患者さんとの対話を重視した医療を提供します

雪の降りしきる12月15日、町民と病院職員との対話会を開催しました。この対話会には、25人の町民の皆さんから参加いただき、病院職員17人と合わせた42人が3つのグループに分かれて、対話を行いました。



対話会を開催!

患者さんが病院で診察などを受けられる際は、受付から会計まで病院職員とたくさんの方との対話をします。その中で病院職員の話しした内容と患者さんの受け止めた内容に違いが生じたりすることがあります。

このようなことをできるだけ解消し、患者さんに安心して診察や検査を受けていただくため、対話における言葉の使い方などを一緒に考え、さまざまな気づきを得ることを目指しました。

どんな場合に違いが生じるのか

町立病院は24時間365日の体制で患者さんを受け入れていますが、患者さんから話をうかがって町立病院で対応しきれないと判断した場合は、大きな病院に紹介したり、専門医に行っていたりすることがあります。この説明の過程で認識の違いが生じてしまうことが多いようです。できることとできないことをもっと明確に広報してほしいというご意見もありました。

人によって受け止め方が違う言葉も

看護師から「顔色が悪いようですね」と声をかけられた場合、次のような受け止め方の違いがあるという意見がありました。

Aさん「親身になって心配してくれてうれしかった」

Bさん「何とも思っていないのに体調が悪いのかと不安になった」

コロナ禍の頃との違いも説明

新型コロナウイルスが猛威を奮っていた令和4年度に実施された町民アンケートには、発熱した患者さんへの町立病院の対応に関する否定的なご意見がたくさん寄せられました。

これらのご意見にきちんとお答えできていなかったため、対話会の開催前に、「コロナ禍の頃とは違う現在の対応の状況を総看護師長が説明しました。」

※今回の対話会の内容の詳細や、町民アンケートのご意見と回答の内容は、町の公式ホームページに掲載します。つながるくんの配信などからも読むことができますので、ぜひご覧ください。



12月の令和6年第4回定例会において、町道維持補修事業（町道のライン引き）の債務負担行為が追加で可決されました。これは、子どもたちが安全に小学校に登下校出来るように、消えかかっている横断歩道や外側線などのラインの引き直しについて、小学校PTAより町へ要望のあったものになります。

町はこの要望を受け、春から子どもたちが安全に学校に通えるように、区画線（ライン）の引き直しを実施してまいります！



▲横断歩道などの線を整備します

安全な通学路の確保を目指して！ 道路ラインの引き直しを行います

この度、株式会社寒河江測量設計事務所より、企業版ふるさと納税を活用したご寄付をいただきました。

12月7日、菅野町長より安孫子文剛代表取締役へ感謝状が贈られました。

▼寄付金額…50万円
▼寄付活用…「支え合う！」
町民誰もが安心して豊かな心で生活できる魅力的なまちづくり事業



▲安孫子代表取締役へ感謝状を贈呈

企業版ふるさと納税を いただいた企業に感謝状贈呈

地域おこし協力隊通信

新たに2名の隊員が着任しました!



金子秀明さん

東京都から来ました金子秀明と申します。昨年の冬におたすけ隊で西川町に訪れ、そこからプライベートでも来町し、この度縁がありまして協力隊になりました。

高校を卒業してから約20年飲食業に携わり、なかでもイタリアンのレストランで8年ほど働いていました。

町でお見かけの際は気軽に「ひで」や「シェフ」と呼んでいただくと嬉しいです。ゆくゆくは居住地点として自分好みの家を作りたいと思っています。これからよろしくお願いいたします!



長谷川瑞輝さん

南陽市から来ました長谷川です。大学でテキスタイルデザイン(染色・機織)を学んだのち、アパレル企業で実務を通して縫製とパターンメイキングを学びました。

間沢の古民家を改装して、シェアハウスや飲食営業・シェアアトリエ等の複合的なにぎわいの場を作りたいと考えています。また、西川町の植物による天然染色でアパレル製品開発も実施していきます。アトリエができれば、洋裁教室なども開催しますので、ぜひ遊びにきてください。



免疫力を高める3つのポイント

風邪やインフルエンザなどが流行するこの季節、風邪などのウイルスから打つ勝つために免疫力を高めましょう。

①体をあたためる

体が冷えると血流が悪くなり、血液中の免疫細胞が働きづらくなります。温かいものを飲んだり、運動したりして体を温めましょう。



②栄養バランスの良い食事

栄養不足は免疫低下の原因になります。1日3食バランスの良い食事を心がけましょう。



③ストレスをためない

ストレスが原因で自律神経のバランスが崩れると、免疫力の低下につながります。心身をリラックスさせる時間をとりましょう。



虫歯ゼロのおともだち

12月18日の3歳児健診歯科検診で「虫歯ゼロ」の子どもたちを紹介します。



くどう せいた 工藤誠太さん



おおいずみ そうま 大泉颯真さん



さとう りほ 佐藤莉歩さん



さとう いまる 佐藤依菜琉さん



きしま ゆづき 木島紬月さん

図書館さ、いぐべ〜。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎85-0077

特別企画展「町長の本棚 第二弾」開催中！

令和5年4月に開催し、大好評だった「町長の本棚」。今回は菅野町長が大学生以降に読まれた本に限定して「町長の本棚 第二弾」を開催しています。町長が掲載されている本と共に展示貸出をしています。読書家の菅野町長はいったいどんな本を読んでいるのか…。菅野町長の本棚を覗いてみませんか？

1月末まで開催予定です。



1月のおはなし会

日時：1月18日（土）
10時30分～

楽しい絵本とおはなしのほかに、工作もあります！

古い町報をお持ちの方

町の資料として保存するため、以下の町報を探しています。お持ちの方がいらっしゃいましたら、図書館までご連絡くださいますよう、お願いします。

・昭和30年代 ・昭和40～44年 ・昭和56年9月号

Congratulations!

～おめでとうございます～

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略

町民剣士が町内外の大会で活躍！

12月7日に寒河江市市民体育館で第54回寒河江市長杯争奪剣道大会、12月22日に西川小体育館で第66回西川町剣道大会が開催され、町民剣士の皆さんが日頃の稽古の成果を発揮しました。

- 【第54回寒河江市長杯争奪剣道大会】
 - 小学生団体の部
 - 第3位 栄光スポーツ少年団
 - 中学生男子団体の部
 - 優勝 西川・朝日・陵南合同チーム
 - 一般団体の部
 - 準優勝 西川Aチーム
- 【第66回西川町剣道大会】
 - 小学生(男子)
 - 優勝 高橋明輝
 - 準優勝 奥山楓門
 - 第3位 高橋優心
 - 小学生(女子)
 - 優勝 奥山結愛良
 - 準優勝 松田深鈴
 - 第3位 因幡花菜
 - 中学生(男子)
 - 優勝 尾形優斗
 - 準優勝 奥山拓門
 - 優勝 奥山美桜里
 - 準優勝 奥山実咲
 - 中学生(女子)
 - 優勝 奥山美桜里
 - 準優勝 奥山実咲
 - 一般
 - 優勝 大泉 聡
 - 準優勝 近松和朗
 - 第3位 佐藤 清
 - 第3位 尾形順一



▲西川町剣道大会参加者の皆さん



▲寒河江市長杯争奪剣道大会出場者の皆さん

熱い戦いを展開 西村山市町対抗卓球大会

第57回西村山市町対抗卓球大会が12月15日、町民体育館で開催され、西川町からは13名の選手が出場しました。当日は、10代から80代まで幅広い世代の選手が出場し、年齢や男女別に分かれて戦いました。選手たちは、スピード感あふれるラリーを展開し、熱戦を繰り広げました。

大会成績

- 一般女子の部
 - 第3位 今野朝日（志津）
- 女子シングルス40代以上
 - 第1位 花輪仁美（志津出身）
 - 第2位 今野志津（志津）
 - 第3位 阿部有香（吉川）
- 女子シングルス60代以上
 - 第3位 長岡久美子（吉川）



▲大会の様子

「日本民藝館展」で伊東さんが入選

公益財団法人日本民芸館が主催する公募展「日本民藝館展」で、つる細工職人の伊東さん（大井沢）の作品が入選しました。

同展は暮らしに役立つ工芸品の発展を目的に行われ、陶磁や染織、木漆工、竹工などあらゆる分野の工芸品が全国から応募されます。伊東さんは昨年に引き続き2年連続で入選となりました。



▲伊東さんと入選作品

放課後子ども教室にしかわ

活動紹介

●子ども教室の飾り付けを見たことはありますか?季節ごとに変わる楽しい飾り付けのほとんどはスタッフの手作りです。お立寄りの際にはぜひ見に来てください。隠れハートは何個見つけられるかな?

●ちょっとイングリッシュでは「英語で体育」を行いました。寒さに負けずに走って跳んで、元気いっぱいの子もたちです。



放課後子ども教室にご協力いただける方、子どもたちと一緒に活動したい持ち込み企画がある方など大募集中です!

【お問い合わせ】
まなぶ課 ☎ 0237-74-2114

おたすけ隊活動中! ~町のお困り事を手伝います~

【活動内容】9期:4名(12月7日~20日)

町民	除雪・掃除
建設水道課	スノーポール立て
企画財政課	つながるくん確認ボタン説明訪問、仙山カレッジ会場誘導
地域コミュニティ	いってみっぺ手伝い
トラヤワイナリー	ラベル貼り
西川町総合開発株式会社	塩蔵わらびの袋詰め、資材づくり、ラベル貼りなど
西川町立図書館	本運搬、おすすめ本展示
健康福祉課	いきいきサロンさらぬまへの備品設置



【おたすけ隊の声】

・町民の方と触れあう機会がたくさんあり、また会いたい方ができました。
・スノーポール立てのお手伝いは、西川町でしかできない貴重な体験で、担当してくださった方の「地味な作業だけど、町外から来る人のおもてなしとして誇りをもってやっている」という言葉が印象的で、感動しました。また、必ず戻ってきます!

【お問い合わせ】イノベーションハブ TRAS ☎: 85-0155 担当 ^{いそあい} 磯合・横山

にしかわ保育園

ねいねいひろば

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子
- 緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子



▲オープニングは全員で「ヤッター!サンタがやってくる」を歌いました!

「ぶなのもり発表会」
12月14日、にしかわ保育園の一大イベント、ぶなのもり発表会が開催されました。子どもたちは、楽しくチャレンジした歌やダンス、劇を元気いっぱい披露し、会場中から大きな拍手が送られていました。

保育園コーナー



▲正義と勇気とやさしさあふれるピーチマン



▲きれいな音色のミュージックベル



▲はりきってこたえてくれたアンコール



▲元気いっぱいの歌「手のひらを太陽に」



▲かわいさ満点「からふるランド」

スキーシーズンの安全を願う 町民スキー場安全祈願祭

12月20日、西川町民スキー場の安全祈願祭が行われ、リフトや同スキー場を管理運営する月山観光開発(株)の社員や地権者、スキー関係者などがシーズン中の無事故を祈りました。
昨年度は暖冬による雪不足で営業が行えませんでしたので、今年度の営業が行えるよう祈願しました。
今年度の営業は3月16日までを予定しています。



▲シーズンの安全を祈願

地域に伝わる伝統行事 湯殿山年越祭の鉦勸進が行われる

□之宮湯殿山神社に伝わる伝統行事「鉦勸進」が12月6日、本道寺や月岡、横岫地区で行われました。「鉦勸進」は白装束に身を包んだ鉦打人が一人一組で約15キロの鉦を持ち、各家庭を回り、玄関前で鉦を打ち鳴らす。諸願成就を祈念する神事です。また、鉦(金)が家に入る縁起の良い行事として受け継がれています。
雪が舞う12月の夜に、鉦打人が勢いよく打ち鳴らす鐘の音が響き渡りました。



▲玄関前で力強く鉦を打つ

雪遊びを楽しもう！ 「にしかわGASSANの冬」オープニングイベント

「にしかわGASSANの冬」オープニングイベントが12月14日、弓張平公園パークプラザで開催されました。関係者約50名が参加し、テーパーカットを行い、本格的な冬季イベントの幕開けをお祝いしました。
オープニングイベント終了後には、県内外から訪れた33名がスノーシューで公園内の散策を楽しみました。



▲オープニングイベントの様子

つながるくんの相談はトラス窓口へ！

スマートフォンの相談もOK！
操作に不安のある方は
お気軽にお立ち寄りください。



- デジタル相談窓口
場所：トラス 時間：(平日) 9:00~17:00
- つながるダイヤル
☎080-7245-1868

農作物を鳥獣から守るために JAさがえ西村山から捕獲用わなの寄附

さがえ西村山農業協同組合から町にクマ捕獲用ドラム缶わなとイノシシ捕獲用わなの寄附をいただきました。同組合は、今年度鳥獣被害対策連絡協議会を立ち上げるなど鳥獣被害対策に力をいれており、その一環として、12月4日、安孫子常哉組合長が菅野町長に目録を手渡しました。
わなは町鳥獣被害対策実施隊が行う捕獲活動に使用し、クマやイノシシから農作物を守るために活用していきます。



▲菅野町長へ手渡される

「FABER月山」が 東京で展示会を開催！

大井沢、志津地域を中心に活動している職人集団「FABER月山」が、12月4日から12月10日まで、東京都新宿区のコクミン共同体ホール/スペース・ゼロで展示会を開催しました。「月山」に魅せられた職人たちが「月山」に行われた展示会には多くの方が訪れ、月山の自然が育んだ素材と職人の技巧を凝らした作品をじっくりと鑑賞していました。



▲展示会の様子

「FABER月山」の詳細は下記より
ご覧下さい



ひと足早い春を西川から届ける 啓翁桜出発式を開催

12月19日、令和6年度啓翁桜出発式が吉川地内の啓翁桜促成施設で開催されました。
式には啓翁桜の生産者やJAさがえ西村山、さがえ西村山花き振興協会、町などの関係者27人が出席し、出荷作業の安全と販売拡大などを願い、神事が執り行われ、その後、初出荷の啓翁桜を乗せたトラックを見送りました。
今年度、寒河江・西村山管内では約49万本の出荷が計画されており、そのうち本町からは30万本を出荷する予定です。



▲テープカットの様子

手作りの門松で新年を迎える シルバー人材センターの皆さんが製作

12月23日、西川町シルバー人材センターから役場や交流センターあいべ、保健センターなど町内6つの施設に門松を寄贈いただきました。
同センターの会員の方々によって製作された門松が各施設の新年の玄関を飾りました。



▲シルバー人材センターの皆さん

リフォーム&リノベーション

Before → After

Reform

ウンノハウス

☎ 0120-73-8718

株式会社ウンノハウス
【山形ショールーム】
山形市大野目4丁目1-37
営業時間/9:00-18:00
定休日/火曜日・水曜日

WEB相談

Let's enjoy makeup/

メイクで交流 「メイク体験イベント」開催



ファッションや美容の専門学校である大阪モード学園の学生が、12月15日、トラスで「メイク体験イベント」を開催しました。

これは、モード学園の卒業制作展の協力依頼を受け、菅野町長が自治体の課題や首長として築きたい町についてメッセージを送ったところ、学生が西川町に興味を持ったことがきっかけとなり、実現されたイベントです。

当日は、町内外から約20名が参加し、メイクやネイルを体験。参加者は体験の中でメイクのやり方についてもレクチャーを受け、「いつもとは違うメイクをしてもらえて嬉しい」「メイクのポイントを分かりやすく教えてもらったので参考にしたい」などと話しました。

編集雑記

明けましておめでとうございます。今年のご干支は「乙巳(きのとみ)」です。「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年だそうですね。努力が実を結ぶ充実の年となるように頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。
(伊藤)

今月の表紙

河北新報社が主催する「仙山カレッジ」の第42回フォーラムが12月14日、交流センターあいべで開催され、参加者全員で記念撮影！
(7頁に関連記事掲載)

●お詫びと訂正●

本紙の先月号(令和6年12月号)において、20頁「高校生ソーシャルイノベーションコンテスト」の「チーム乙女」と「GENERATION」の写真が反対になっていました。お詫びして訂正いたします。正しくは右記のとおりです。



LINE @nishikawa_town

X @nishikawatown

Instagram @nishikawatown

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。

1/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,222人 女 2,312人 計 4,534人 世帯数 1,793 ()は前月比 (-1) (-5) (-6) (+2)